

育児院だより

2019年9月10日

第67号



発行：社会福祉法人 児童養護施設 埼玉育児院
〒350-1175 埼玉県川越市大字笠幡 4904-1

発行責任者：柴山英士 編集：埼玉育児院広報委員会
TEL049-231-2107 Fax049-231-2111

育児院だより

カラーにします!!



「え?なにをいまさら。」とおっしゃらないでください。平成17年、時の院長 國分光男氏が「埼玉育児院再生にぜったいに情報発信はかせない。とにかく育児院の中のことを内外に知らせ、地域の皆さんはじめ応援していただける方に届けよう。そのためにこの広報誌を発行しましょう。」と院長陣頭指揮のもと第1号が発刊されました。すべて手作りの育児院情報発信のルーツです。年に4回発行し、これまで66号を発行してきました。現在発行に関わる人は、職員で広報委員会のメンバー4名、そして埼玉育児院サポートクラブの御婦人方が毎回発送作業を担ってくれています。これまで編集方針からカラー化しないとしてきたわけではありません。見て読んでくださる皆様に、もっともっと見やすく楽しめる紙面にするためにカラーで発行したいということはずっと考えていたことでした。やっと機が熟したとよいかと思います。パソコンやコピー機の進化があり、手軽にレイアウトの加工ができるようになったものの、コピー機によるカラー化は経費の問題から見送ってきていました。ところが、コピーに比べ格段に安く印刷できる媒体が世に出回ってきたことから、今回カラー化に踏み切った次第です。そしてもう一つ、子どもたちの養育のプロフェッショナルとして、地域社会に自分たちをどのようにしたら効果的にアピールできるのか、その必要性が求められる時代になったことです。もちろんすべてを専門家集団等に任せるということもできますが、今はまだ自分たちの手作りでの発行を続けていきたいと考えています。

社会福祉法人 埼玉育児院は、新たなステージへと着々とその歩を進めています。児童養護施設埼玉育児院は、埼玉県に発祥して一世紀以上になりますが、昨年には新たに母子生活支援施設「カーサ・ライラック」を開設いたしました。今後もこの埼玉県川越の地で、子どもたちとその家族に必要な支援を提供し続けていきます。その活動について、できるだけ皆様に知っていただけるよう広報紙「育児院だより」を発行してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

埼玉育児院 院長 柴山英士

令和元年度 埼玉育児院

創立記念

お楽しみ会

日時: 令和元年 10月27日(日)

11:30 スタート 雨天決行

場所: 埼玉育児院

内容: *お食事

焼きそば・フランクフルト・ジュース・お菓子袋 など

*ゲーム *抽選会

*ステージゲスト など 盛りだくさん

チケット1セット
300円
当日受付で販売

予告なく内容を変更する場合があります。

★協力★つばさライオンズクラブ様・パイオニア労働組合様

川越ライオンズクラブ様・株式会社メモリード様

☆お願い☆・駐車場はありません。徒歩または自転車でお越しください。

・模擬店の食べ物は、衛生上の問題で持ち帰りできませんので、ご了承ください。



令和元年夏休みのおもいでを

職員さん

子どもたちに聞きましたその1

太陽の絵



ソフトで
じゅんゆう勝でうれ
しかったしぐさがあった
来年はよくなって
優勝をねらいます
カルポナラ!!

毎年、埼玉県内の児童養護施設でソフトボール大会が行われます。今年は準優勝しました。近年の最高成績です。

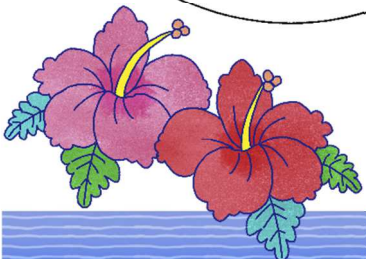


1かいほなみか
おれからたけどつか
めはいつたときはつよ
でも
うみ
つみまた
らいおん
てんきだ

今年この暑い中、楽しそうにソフトボールの練習に参加して頑張っていました。大会当日、その頑張りの成果CF-4は、準優勝、B7-4は逆転勝ちしたりめいも準々決勝敗退してしまいましたが、チームワークもよく、お互い励ましあったり、失敗してもカバーしたりと、声をかけ合いとてもいい試合をしていました。勝ち負けよりも、子どもたちの笑顔、楽しそうにやっている姿に、感動しました。今年もハジに互励、ステキな夏になりました。子ども達の笑顔最高でした
職員

今年は、
仮だちとトイ
ストーリーと見
ました。ウツナー
かお長崎さー

夏休みといえば
たんさんの行事 たんさんの宿題。
遊ばない気持ち強くと宿題が目も背けが
なってしまう。結局宿題が終わらないと
いうことが何度もありました。今年は、気持ちよく新学期
を向かえようという願いが、職員が子どもと一緒に
難問に挑戦したり夏休みが終わり10日前にチェック
を作ったりしました。その結果、全員宿題を終え、
清々しく新学期を迎え孫が生まれました。
また、学校が始まるまで不安や悩みが多く
でる時期でもあり、職員一同子どもに寄り
添ってほしいと思います。
職員



食堂の耐震工事を行いました



埼玉育児院には、『食堂』があります。今年7月中旬、昭和50年に建てられた食堂の耐震工事を行いました。

食堂には厨房があり、育児院の食事は1日の3食をこの厨房で調理員が作ります。実際子どもたちが食堂でご飯を食べるのは休日の昼食ですが、職員の会議や研修、クリスマスなどの施設の行事などを食堂で行います。今の育児院には、なくてはならない食堂です。



現在の社会的養護は、集団ではない小規模化がベターとなり、小さなグループがそれぞれ生活する中で食事を調理し、食卓を囲むスタイルの施設が多くなっています。



厨房で調理員が60人分のご飯を一気に作る「集団食」と、「施設全体での行事」を催すスタイルは、現在の児童養護施設の中でも埼玉育児院の大きな特徴です。

今まで何度も、それぞれのお家で子どもと生活を共にしている職員が調理し子どもたちと一緒に食卓を囲む、いわゆる「全調理」への移行について話し合ってきました。お家で調理全ての工程を行うことでのメリット

は重々理解したうえで、育児院は時代に逆行しているのかもしれませんが。

今後さらに加速すると思われる小規模(グループホーム)化・家庭養育・里親養育、ではなく、施

設は施設で行う施設養育を集団生活であることが強みになるような養育

↑食堂スタッフ作成の掲示
みんなよく見えています。

にしていかなければなりません。と考えると、施設養育のメリットとして、それぞれの専門職が連携しあい、それぞれの仕事の得意を最大限に発揮しあうことも施設養育の大きなメリットになると考えます。

食堂での昼食

- 12:00~13:00 の間にそれぞれが食堂に来ます。
- 決まった席ではなく、空いている好きな席で食べます。



休日は、日中の職員が少なく、状況の把握や対応が難しいことが課題です。

集団食を

さらにおいしくする工夫

☆半調理をしています

おかずの最後の工程(焼く、炒める、揚げるなど)はそれぞれのお家のキッチンで行います。なので、集団食ではありませんが、

出来たてアツアツ



を食べます。



グループホーム

地域小規模児童養護施設

って???



埼玉育児院には、地域小規模児童養護施設と言われるグループホームが2カ所あります。
育児院のグループホームの様子をお伝えします。

厚生労働省 児童養護施設運営指針より

子どもの生活の場をできるだけ家庭あるいは家庭的な環境で養育する「家庭的養護」と、個々の子どもの育みを丁寧にきめ細かく進めていく「個別化」が必要である。

できる限り小規模で家庭的な養育環境(小規模グループケア・グループホーム)の形態に変えていくことが必要である。

キッチンカーがやってきた!!!!

市内で素敵なカフェを構えるご主人が、キッチンカーで子どもたちにおやつを振る舞ってくださいます。6・8月はかき氷、7月はフルーツポンチ。毎回趣向を凝らした他では味わえないおやつです。子どもたちは毎月楽しみにしています。

本院のように大人数が対象となると、食品を扱う衛生管理の規模も大きくなります。今回はグループホームが少人数のため、原田ホームでの実施となりました。今後は夕食なども作ってくださるということで、職員も期待を膨らませております。



色々な種類のかき氷があり、
たくさんいただきました!!



可愛いパン。
子どもたちは
大好きです!



こんなに
カラフルなかき氷
も!!



キッチンカーに興味深々です。

新聞から VOI14



児童福祉や社会的養護、子どもの養育に関する新聞記事に対し、育児院の状況や課題などをお伝えします。

今回は、令和1年9月2日 福祉新聞
『里親制度学ぼう』
10月3日 都内で無料研修講座

公益財団法人全国里親会は10月3日午後、東京都の自民党本部で「里親制度研修講座」を開催する。児童の養護と未来を考える議員連盟と日本ファミリーホーム協議会との共催。国会議員や社会的養育に関心のある日地などが対象で、里親制度の普及啓発を目指すのが狙い。

...

参加費は無料。問い合わせは全国里親会(03-3404-2024)まで。

上記のような、里親制度啓発の講座やイベントにぜひぜひ多くの方々に参加してほしいと思っています。

平成28年児童福祉法改正により、子どもが権利の主体であること、実親による養育が困難であれば、里親や特別養子縁組などで養育されるよう、家庭養育優先の理念等が規定されました。この改正法の理念を具体化するため、厚生労働大臣が参集し開催された有識者による検討会で「新しい社会的養育ビジョン」がとりまとめられ、その中で里親家庭で生活する子の割合(里親委託率)の目標値が掲げられました。

埼玉県の里親委託率(ファミリーホーム含む)は毎年少しずつ上昇しており、里親委託の児童数は5年前の213人から昨年度は284人になっています。

それでも、増え続ける児童虐待相談件数を考えると、施設の数減らすことは難しく、今よりも非常に多くの里親委託が必要であるということになります。

今埼玉県の施設で生活をしている児童1200人以上の数の里親さんがいれば、その多くは、施設ではなく家庭養育で育まれる児童となります。

ただ、施設で生活する児童は実親との交流・関係継続や実家庭への家庭復帰を見込んでいる場合がほとんどです。

里親登録をしている方の中では、特別養子縁組を希望されている方が多く、施設の入所児が里親委託に至ることは少ない実情です。

また「里親」と聞いて養子縁組とイメージが混合してしまうのが、まだまだ一般的かと思えます。

《里親制度》 ～養子縁組との違い～

◎数日・数か月の短期の委託もある

◎児童の生活費、里親への手当てなど公費の経済的サポートがある

◎名前や戸籍は変わらない(通称名の場合あり)

etc.

里親家庭で生活する児童を増やすために、里親制度の啓発がもっとも必要です。

里親制度を、たくさんの方々にお知らせできるよう、県内施設の里親支援スタッフが協力し、地域のお祭りに里親制度啓発のブースを出展します。

2019年 里親制度PRブース出展 予定

10/5(土)	日高市あいあいまつり
10/12(土)	本庄市ふれ愛祭
10/13(日)	岩槻やまぶきまつり
10/19(土)	行田市ふれあい福祉健康まつり
10/26(土)	深谷市福祉健康まつり
10/27(日)	羽生市民福祉健康まつり
11/9(土)	日高市民まつり
11/10(日)	

ぜひぜひ遊びに来てください。



6月

- 1日：霞中体育祭/基幹主任会議
- 2日：山伝集団回収/おやじの会
- 4日：人材確保委員会(院長)
- 5日：運営・合同会議
- 6日：次世代リーダー養成研修②(萬)/法人内新任研修①/ソフト役員会(二本)/性教協研修(新田)/育成会定例会(吉原)
- 8日：就職フェア大宮(戸川・新田)・里親実習
- 9日：スケート教室(戸川)
- 11日：総務委員会(院長)
- 12日：部署別・給食・職員・養育・合同・経営者・プロジェクト会議
- 13日：法人内新任研修②/スチコン研修(松岡)/埼児研(川鍋)
- 14日：川島町民生委員児童委員会施設見学来訪
- 15日：採用面接
- 16日：評議員会・理事会
- 20日：法人内新任研修③/次世代リーダー養成研修③/山伝代議委員会(院長)
- 22日：みらいの森春ハイキングご招待
- 24日：施設長マネジメント研修・虐待防止職員研修(院長・廣野・粟津)/埼玉福祉保育専門学校実習生Cブロック
- 26日：委員会・部署別・合同会議/避難訓練
- 27日：法人内新任研修④/実習オリエンテーション
- 28日：子ども施設サポート委員会
- 29日：育成会グランドゴルフ

7月

- 1日：埼玉福祉保育専門学校実習生原田ホーム
- 2日：総務委員会(院長)
- 3日：運営・合同会議/関プロ施設長会(院長)
- 4日：法人内新任研修④/次世代リーダー養成研修④(萬)/LED工事
- 5日：霞ヶ関小一人一役(宮城)
- 6日：霞中全体保護者会/SBI職員研修(牧)
- 7日：日中保育会議
- 8日：霞小林間・小1夏休み説明会/チャリコン合同会議/山伝太鼓練習/アフターケア連絡会(新田)
- 9日：関プロ母子協研究大会(渡邊)
- 10日：委員会・部署別会議/施設長会(院長)

- 11日：指導監査/法人内新任研修⑤/埼児研(川鍋)
- 12日：郷土史研究会
- 13日：里親登録前実習/育成会定例会(吉原) 埼児協就職セミナー(松浦・新田)
- 15日：埼玉福祉専門学校実習生Bブロック
- 16日：プロジェクト会議/食堂棟耐震工事~26日
- 17日：部署別・給食・職員・合同会議/勤務表係/避難訓練
- 19日：人材確保委員会(院長)
- 21日：育成会山伝櫓立て(戸川)/絵本読み聞かせボラ慰問/スケート教室
- 22日：霞中連絡会/基幹主任会議
- 27日：山伝納涼祭
- 30日：ソフトボール大会記念式典(二本)/Cブロック宿泊栃木アスレチックレク/プロジェクト会議
- 31日：合同会議

8月

- 1日：Aブロック日帰り茨城海水浴レク
- 2日：Dブロックプールレク/川越児相との協議(院長・統括・新田)
- 3日：里親実習
- 5日：みらいの森キャンプご招待/学校教諭見学(院長・統括)/日本社会事業大学実習生Dブロック
- 6日：運営・合同会議
- 7日：一時保護事業会議①/赤い羽根ニチレイ見学
- 11日：スケート教室
- 12日：基幹主任会議
- 14日：一時保護事業会議②/自治会パトロール(戸川)
- 16日：白梅学園実習生Cブロック
- 18日：おかあさんといっしょスペシャルステージご招待
- 19日：親善球技大会
- 21日：Bブロック宿泊静岡海水浴レク
- 23日：サマーランドご招待
- 25日：絵本読み聞かせボラ慰問
- 27日：人材確保委員会(院長)
- 28日：まいまいの会様工作イベント
- 29日：Bブロックプールレク/りんご日帰り江ノ島水族館レク

--- いつもありがとうございます。 --- 6/1~8/31 

《寄付者》パンブキン、J's Factory、まいまいの会、高星清、山下正子、パールショップともえ、塩野さやか、明治安田生命川越営業所、毎日新聞社、オータ狭山パチンコ館、倉野謙二、株式会社ゴルフ・ドゥ、元山猛、高橋一枝

《学習ボランティア》石塚定次

《ピアノボランティア》小名木千穂

《サマーランドご招待》パイオニア労働組合

《各種アクティビティご招待》みらいの森

《おかあさんといっしょスペシャルステージご招待》NHK エデュケーショナル

《スケート教室》森田夫妻・大竹拓己・皆さま

《絵本読み聞かせボランティア》絵本の森

《日中保育ボランティア》渡辺佳英・泉、山崎博子、滝川容子

《院内美化・育児院だより発送等》埼玉育児院サポートクラブ

(敬称略・順不同)

編集後記：今回号より、歴代広報委員の念願叶ってカラー印刷になりました!! たくさんの方が手に取り、ページを開いて、育児院へのご理解をさらに深めてくださる機会になれば幸いです。